

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
  - ① 「県・市町村青少年相談担当職員研修会・東毛地区」受付中
  - ② 県内における広域通信制高校入学者数の調査結果がまとまる
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
  - ① 「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」湯浅実行委員長のメッセージ
  - ② 新型コロナ・緊急支援事業 高校生世代対象「緊急支援給付金」
  - ③ ひきこもり家族教室「ひきこもりとは」
  - ④ オンラインセミナー「子どもの発達を科学する」
- 3) 民間活動団体等の紹介
  - ① あいおい子ども食堂

1 7/30「県・市町村青少年相談担当職員研修会・東毛地区」受付中

増え続けている中・高生の不登校、長期化するひきこもり状態、子どもたちの抱えている不安をどのように理解し、対応したらいいのか、医療、支援現場の専門家が講演します。

後半のパネルディスカッションでは、中学校の養護教諭を交えた意見交換を通して、支援者は何をすべきかを一緒に考えていきます。

例年12月に開催している「県・市町村青少年相談担当職員研修会」今年度初めて、東毛地区で開催することにしました。是非、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

日時 7月30日(木) 13:00~16:00 (開場12:30)

会場 太田市宝泉行政センター 多目的ホール  
(太田市西野谷38-2)

テーマ 「中高生の不登校・ひきこもり状態の理解と対応」  
ー 支援者は何をすべきかを考える ー

内容

【ガイダンス】(13:00~13:20)

NPO法人リンケージ理事長 臨床心理士 石川 京子氏

【基調講演】(13:20~14:30)

①「専門医が語る 不登校・ひきこもり状態の理解と、その対応」  
みどりクリニック院長 医学博士 鈴木 基司氏

②「伴走型支援の専門家が語る 不登校・ひきこもり支援の現場」  
NPO法人カウンセリング&コミュニケーション・ミュー  
(CCM)代表 山本 泉氏

【パネルディスカッション】(14:45~16:00)

コーディネーター 臨床心理士 石川 京子氏

パネリスト

太田市立太田中学校 養護教諭 阿部恵美子氏

みどりクリニック院長 鈴木基司氏

NPO法人CCM代表 山本 泉氏

【申込み方法】定員 250人（先着順）  
7月20日（月）までに、電子メール（別添様式）で受付。  
e-mail : kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

注) 参加の受付完了はメールで返信します。  
定員を超えた時点で受付を終了させていただきます。  
なお、「新型コロナ感染症に係る県主催イベント等実施ガイドライン【Ver.3】」に基づき開催するので定員が減ることをあらかじめご承知おきください。

## 2 県内における広域通信制高校入学者数の調査結果がまとまる

近年、中高生の進学先として広域通信制高校の関心が高まっていて、本県でも新入学・転編入学者の増加傾向が見られます。  
県子ども・若者支援協議会では、平成27年度から高校中退者等支援で、高校進学や進路変更に悩んでいる本人・保護者の相談・支援に取り組んでいます。  
この取組の一環として、県内で広域通信制高校（学習センター含む）を進学先としている入学者数の動向を把握するため、下記の13校に調査（令和2年度5月末現在）で協力していただきました。

### 【調査協力校】

クラーク記念国際高等学校（前橋・桐生キャンパス）  
第一学院高等学校（高崎キャンパス）  
KTCおおぞら高等学校（高崎キャンパス）  
わせがく高等学校（太田・前橋キャンパス）  
鹿島学園高等学校（館林・伊勢崎・ぐんま・高崎・北高崎・前橋）  
トライ式高等学院（高崎キャンパス）  
ヒューマンキャンパス高等学校（高崎学習センター）  
さくら国際高等学校（富岡・高崎学習センター）  
飛鳥未来きずな高等学校（高崎・大宮キャンパス）  
ルネサンス高校（茨城県大子町本校）  
N高等学校（沖縄県うるま市伊計本校）  
NHK学園高等学校（協力校 昌賢学園）  
地球環境高等学校（長野県佐久本校）

### 【結果の分析】

- ①入学者合計  
令和元年度707人、初めて700人を超えた  
2年連続で100人超増、私立通信制の入学者が急増している
- ②転入学（今いる高校から次の高校に転入、いわゆる転校）  
令和元年度377名（前年度303名）で全体の半数以上を占める  
高校入学後の進路変更先として大きな受け皿になっている
- ③新入学（中卒後、他の高校に属することなく4月・10月から入学）  
令和元年度275名、今年度も266名が入学  
中学卒業後の進路先として関心が高く、増加傾向が続いている
- ④編入学（一度高校を中途してから、再度高校に入学）  
令和元年度55名（全体の約8%）  
中退後、高卒を希望する者の再学習先になっている

★メルマガ原稿\_vol.43.txt

全体の集計結果を県HPでご覧いただけます。  
[http://www.pref.gunma.jp/03/bm01\\_00035.html](http://www.pref.gunma.jp/03/bm01_00035.html)

【自立支援ガイド「学び編」を活用ください】

この支援ガイドは、学校で「不安」を抱えた若者が、周りの人の支援を受けながらどのように一歩前に進んでいったか、本人や保護者の体験談をまとめたものです。

本人に合った「学びの環境」を考える際に活用してください。  
私立通信制高校での学び方も紹介しています。

支援ガイドの内容は県HPからご覧いただけます。  
[https://www.pref.gunma.jp/cate\\_list/ct00002546.html](https://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00002546.html)

3 | 8/23「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」湯浅実行委員長のメッセージ

県内の子どもや若者の世代を支える民間支援団体と支援者が集まり「支援者と繋がるきっかけづくり」「官民連携の大切さ」を軸に群馬県子ども・若者支援協議会と共催で開催します。

テーマは「支援を必要としている方と支援者がうまくかみ合う社会の実現を目指して」。各地域で支援に携わる人たちがお互いを知り、散らばっている点を線にしていくことで大きな力となり、社会資源の構築の実現に繋がっていきます。

それは行政も同じで、支援機関が相互に発信し合うことが当事者と家族の困難さを具体的な解決の導きに繋げていきます。  
このような支援の動きが県民の関心を高め、理解を広げていきます。

基調講演は、ジャーナリストの池上正樹さんをお願いしました。池上さんはKHJ全国ひきこもり家族会で広報を担当し、ひきこもりフューチャーセッション庵の立ち上げメンバーでもあります。全国の事例を紹介しながら、当事者の目線に立った講演の内容は、「本当に困っていることとは何か」「その人にとって生きる糧となることは何なのか」を私たちに問いかけてくださいます。

分科会はテーマを3つに集約し、幼少期・学齢期・青年期に分けました。実行委員の個々の活動を生かしながら、テーマの特色を捉えて会を進行させていただきます。

【フォーラム】

日時 令和2年8月23日（日）13:00～16:00  
会場 群馬県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町）

フォーラムの詳細は、HPをご覧ください。  
<https://minamikaze2015.wixsite.com/home>

<問合せ先>

実行委員会事務局（わせがく高等学校内）  
TEL 027-289-0692  
メール：maebashi@wasegaku.ac.jp

4 | 6/22締め切り 新型コロナ 高校生世代対象「緊急支援給付金」

公益財団法人あすのばでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって生活に大きな影響を受けた「高校生世代の方を」対象に、

「あなたのことを想っている人々がここにいるよ」という多くの方々のメッセージとともに給付金をお届けします。給付金返済は不要です。

申込みのできる人は、①～③すべてに当てはまる方

- ① 住民税の所得割が非課税世帯
- ② 高校生世代の方（2001年4月2日から2005年4月1日まで）
- ③ 収入が減少（詳細はHP）

<給付金の金額と募集人数>  
一人4万円・1,200人

<申込み受付期間>  
2020年 6月8日（月）～6月22日（月）締め切り後の受付不可

詳細は下記HPをご覧ください。  
<https://www.usnova.org/notice/4006>

## 5 | 6/25 ひきこもり家族教室 「ひきこもりとは」

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会にしませんか。家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなるという研究結果があります。

初めての方は個別の相談を受けた後、必要に応じて家族教室にご案内しています。  
支援者の見学も受け入れています。希望される方は事前に連絡をお願いします。

### 【家族教室】

教室：6月25日（木）13:30～16:00

内容：オリエンテーション「ひきこもりとは」

ワークを交えながら、家族自身の生活を豊かにするポイントについてみんなで学びます。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター  
専用ダイヤル 027-287-1121

## 6 | 7/12 オンラインセミナー「子どもの発達を科学する」

群馬県自閉症協会の支援者部会からの情報提供です。

公益社団法人子どもの発達科学研究所では、子どもの発達と学びについての正しい知識と具体的な支援方法についての入門講座をオンラインで開催します。

子どもの「発達」「発達障害」「学び」について、脳科学や行動科学の見地からわかりやすく解説し、子どもの行動を支援する具体的な方法をお伝えします。

【セミナー】

日時 令和2年7月12日（日）14:00～16:00  
形式 オンライン（Zoom）開催  
参加用URLは、申込み終了後にお伝えします  
講師 大須賀 優子氏  
（公）子どもの発達科学研究所 主任研究員  
小児発達学博士（大阪大学大学院 連合小児発達学研究所）

プログラム

- ① 子どもの発達を科学で考える
- ② 発達障害を正しく理解する
- ③ 子どもの学びを脳機能から考える
- ④ 子どもの行動を支援する具体的方法

参加費 無料  
定員 90名（事前申込み 先着順）

申込み方法などの詳細はHPをご覧ください  
<http://attendant.kodomolove.org/>

7 民間活動団体等の紹介 あいおい子ども食堂

3年前、子どもからお年寄りまで、誰もが気兼ねなく食事ができる場所を作ろうと有志が集まり、桐生協立診療所（桐生市相生町）2階を借りて子ども食堂を開設しました。

親の仕事が忙しくて子どもだけで食事をしたり、お年寄りが一人で食事をしている「孤食」を少しでも減らし、地域の居場所の一つとなればという思いから始めました。

地域の農家さんとも連携し、安心・安全の食事の提供と遊びの場、小学生を対象にした学習支援の3つの柱を大切にしています。  
子どもたちは食事が終わると、学生、高校生、元教員のボランティアによる学習支援を受けられます。

「無理をしないで長く続けていこう」と、月1回のペースで開催していますが、現在はコロナの影響で通常の子ども食堂・学習支援は休んでいます。そのため5月からは弁当の無償提供を行っています。今は少しでも早く、通常の活動が再開できることを願っています。

活動の様子はこちらをご覧ください。

<https://ja-jp.facebook.com/aioi.kodomo.shokudo/>



次号は、2020年7月中旬を予定しています。  
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。  
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『[kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会 .....

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部  
児童福祉・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-223-6526
- ▼ e-mail [kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>

# 令和2年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会・東毛地区」実施要項

## 1 概要

### (1) 趣旨

社会生活や学校生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者やその家族が、適切な相談・支援を受けられるようにするため、身近な地域や学校で青少年の相談・支援に携わる職員らを対象に、子ども・若者の相談・支援についての知識や技法、他機関との連携による支援について理解を深めることを目的に研修会を実施する。

### (2) テーマ 「中高生の不登校・ひきこもり状態の理解と対応」

－ 支援者は何をすべきかを考える －

増え続けている中高生の不登校、長期化するひきこもり状態、子どもたちの抱えている不安をどのように理解し、対応したらいいのか、医療、支援現場の専門家が語る。パネルディスカッションでは、支援現場の参加者からの質問に答える形で「支援者は何をすべきか」を一緒に考える。

### (3) 主催 群馬県子ども・若者支援協議会

後援（予定） 太田市教育委員会

2 日 時 令和2年7月30日（木） 13：00～16：00（開場 12:30）

3 会 場 太田市宝泉行政センター 多目的ホール（太田市西野谷 38-2）

## 4 内 容

### (1) 開会行事（13:00～13:20）

ガイダンス コーディネーター役 石川 京子氏（NPO法人リンケージ 理事長）

### (2) 基調講演（13:20～14:30）

#### ① テーマ「専門医が語る 不登校・ひきこもり状態の理解と、その対応」

講師 みどりクリニック院長 医学博士 鈴木 基司氏

#### ② テーマ「伴走型支援の専門家が語る 不登校・ひきこもり支援の現場」

講師 NPO法人カウンセリング&コミュニケーション・ミュー（CCM）代表 山本泉氏

### (3) パネルディスカッション（14:45～16:00）

■ テーマ 「不登校・ひきこもり状態の理解と対応」－支援者は何をすべきかを考える－

■ コーディネーター 臨床心理士 石川 京子氏（NPO法人リンケージ 理事長）

パネリスト

ア みどりクリニック院長 鈴木基司氏

イ NPO法人CCM代表 山本 泉氏

ウ 太田市立太田中学校 養護教諭 阿部恵美子氏

## 5 定員 250人（先着順）

参加対象：教員、教育関係者、青少年支援担当者、民間支援者、県・市町村職員等  
7月20日（月）までに、電子メール（所定様式）で参加を受け付けます。

注）参加の受付完了はメールで返信します。

なお、定員を超えた時点で申し込み受付を終了させていただきます。

### 【申し込み・問い合わせ先】

群馬県生活こども部 児童福祉・青少年課 青少年育成係 担当（毒嶋・飯塚）

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 電話 027-226-2393

E-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

# 令和2年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会(東毛地区)」参加申込書

下欄に必要事項を記入の上、電子メールにてお申し込みください。

申込先:群馬県子ども・若者支援協議会(kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)

	氏名	所属	役職
1			
2			
3			
4			
5			

※欄が不足する場合は適宜追加してください。

担当者氏名

---

所属・役職

---

連絡先(電話番号)

---

連絡先(E-mail)

---